コンさる君の

今日も視界良好　代表編

Flagship Management Official Newsletter

7月号

「モチベーションが枯渇！？」　代表取締役　長尾　康行（中小企業診断士）

代表取締役　長尾　康行

皆さん、こんにちは。フラッグシップ経営代表、中小企業診断士の長尾です。先日、高熱が３日間続き、仕事を休んでしまいました。コロナではなく、疲労が限界を超えると高熱が出てダウンするというのが私の体質でして、１年に２回はこういうことが起こります。

酒も飲まず、パーソナルジムに行き、睡眠の質等にもこだわって体調管理もしているはずなのですが、それでもダウンしてしまいました。45 歳ということもあり、もう無理はできない年齢に差し掛かっていると思うと寂しいですが、残念ながら年齢は受け入れるしかありません。また、身体以上に精神的な元気さも年々なくなってきています。気力やモチベーションが全く沸かずに、イライラしたり元気がない日も多く、趣味やプライベートでも何もやる気が起こらない日も少なくありません。思い切ってしばらく休んで充電期間を設けた方が良いのか、それとも単にたるんでいて、もっと気合を入れた方が良いのか正直なところ自分でも対処方法が分かりません。ただ、そんな状態でも自分は弱い人間ではありませんので、頑張っている社員さんの姿や、インターン生のキラキラした目をみていると、またファイティングポーズをとることができます。改めて自己分析をすると、私自身はもう自分や自社（自分がオーナーですので自分と実質同義ですが）のために頑張ることはもうできなくなったということです。より直接的な表現をするとお金や生活のために頑張るということはもうできない人間になってしまったということです。それよりも自分が動くことで、話をすることで誰かが喜んだり、希望を見出せたり、そういう姿を見ることでようやく自分の燃料が補充されるというメカニズムに気づくことができました。

誰かのため、困っている人や企業のためでないと体も心も動かなくなってしまったのですが、それ自体は悪いことではなく良いことだと自分で思うようにしています。それが私自身の生きる意味かなと考えるようになりましたし、そういう哲学的なことを考えるようになったのも、歳だということですね。また、今日も明日も誰かを喜ばせたり勇気づけたりするために頑張ります！

おすすめのお店「ウルフギャング・ステーキハウス by ウルフギャング・ズウィナー 大阪店」

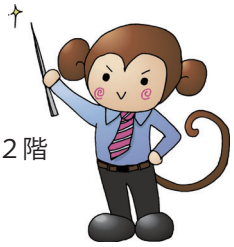
先日、お客様とパーソナルジムのトレーナーの方と３人でステーキを食べに行ってきました。このお店は NY の名門ステーキハウスで 40 年以上活躍したウルフギャング・ズウィナー氏が独立して 2004 年マンハッタンに創業しました。こだわりのステーキの美味しさで瞬く間に繁盛店となりました。現在では、舌の肥えた美食家をも唸らす " 極上ステーキハウス " として、ニューヨークをはじめ、ワイキキ、マイアミ、ビバリーヒルズで絶大な人気を誇ります。日本国内１号店は六本木でアメリカ国外での初出店となりました。今は青山や銀座にもありますが、関西はこの店舗だけです。少し高めの価格設定ですが記念日や自分へのご褒美には最高のお店になると思いますので、おいしいステーキを食べたい！って思った時は是非一度行ってみてください。

住所：大阪府大阪市北区梅田 3-1-3 ルクア イーレ 10F
アクセス；JR 大阪駅直結
営業時間：11:00 ～ 23:00
席数：116 席（ダイニング 90 席、個室 14 席、バー・カウンター 12 席）

事業再構築補助金の採択件数が 300 社を超えました。

株式会社フラッグシップ経営の事業再構築補助金の採択件数実績が 325 社となりました。この件数は日本の専門機関としても３本！？（もしかしたら５本！？）の指に入る実績です。これもひとえに弊社を信用し、依頼してくださった皆様のおかげです。今後も再構築補助金やものづくり補助金のみならず、経営に苦しむ事業者様に最善のサービスを提供できるようノウハウの蓄積や体制の強化に努めてまいります。

発行元：株式会社フラッグシップ経営　経営革新等認定支援機関
大阪本社：〒541-0043　大阪市中央区高麗橋３丁目 2-7　ORIX 高麗橋ビル５階
和歌山支店：〒640-8392　和歌山県和歌山市中之島１５１８　中之島８０１ビル　１２階
ＴＥＬ：0120-34-8776　FAX：06-7635-8214
MAIL：info@flagship-keiei.co.jp　URL：www.flagship-keiei.co.jp



Flagship Management Official Newsletter

コンさる君の 今日も視界良好

7月号
vol.075

「大変な時こそ楽しむスタンスを大切にする」 マネージャー　木戸　貴也（中小企業診断士）

この数か月間、過去一番なくらい締切に追われている日々が続いています。それだけ多くのご依頼をいただいているということなので、本当にありがたいことなのですが、アポイントが続くと中々、デスクワークを行えず、仕事が雪だるま式に溜まってしまうことも多々あります。

この状態が続くと非常にストレスであり、毎度、期日に間に合うのかという不安と焦りもありますが、いざ作業を始められると案件がどんどん進んで行くので、だんだん乗ってきて、ストレスが逆に快感になってきます。大変な時こそ、忙しい時こそ、何でも楽しむスタンスを大切にしてると、膨大な業務量やハードワーク、期日のプレッシャー、お客様の期待に応えたい思いなど非常に負荷がかかる状態であっても、これを楽しむことができ、結果的に物事が良い方向に進むと考えているからです。

会社の業績が悪化している、人手不足で業務が回らない、特急案件が入り急がなければならない等、順調にはいかない時もありますが、何事も楽しむスタンスで物事を好転させ、逆境を乗り越えていきましょう！

「任された仕事をどう捉えるか」経理・総務　松野　あやか

皆さん、新たに任された仕事をどのように捉えていますか？入社した当時、どうして他の業務もあるのに、どうして私が、他の人もいるのにどうして私がと思っていました。入社した当時は、新しいことは吸収しようとせず、自分中心になっており、どうしてこの新しい仕事は、自分に任されているのか考えていませんでした。フラッグシップに入社して３年が経ち、代表からアドバイスをもらったり、新たに後輩ができたり、たくさんの方とお話する中で、気づきや学び、責任感が強くなりました。また、仕事の目的や相手が話している背景には何があるのかを考えるようになりました。新たに仕事を任されるということは、新しい知識・技術を習得でき、成長できるチャンスだと思っております。普段の仕事を正確にこなしている人じゃないと新しい仕事は任せてもらえないと思います。会社から期待されると責任感に押しつぶされる時があると思いますが、それを乗り越えると精神面も強くなり、新しい視点で物事を捉えることができ、同じ仕事でも見えてくるものは違うと思います。

「親が定年を迎えて」ビジネスアナリスト　伊藤　侑加

先日、母親が定年退職を迎えました。母親の仕事は一般的な営業事務ですが、仕事を家に持ち帰り、夜中まで働いていた姿がとても記憶に残っています。当時、中学生だった私は、「なぜそんなに働かないとだめなのだろう？」としか思えなかったのですが、自分も成人し、家族を守るために一生懸命働いてくれていたことに気づき、現在は、感謝の気持ちしかありません。これまでずっとフルタイムで働いていたので、「定年後、何か趣味はあるのだろうか？」と勝手に心配をしています。また、「私が親と過ごせる時間はあとどれぐらいあるのだろう？」と考えるようにもなりました。子供としては、ちょっぴり少し休憩をして、新たな生き甲斐を見つけ、セカンドライフを充実させて貰いたいと思っています。

「人件費はコスト」 ビジネスアナリスト　橋本　大治

昨今、中小企業の業績を圧迫する理由として物価高騰と合わせて人件費の高騰が取り沙汰されています。補助金のご支援をさせていただいていると国が賃金の引上げに力を入れていることが良く伝わります。給料は当然、コストであり単に増えれば利益を圧迫します。給料が上がるのは従業員にとっては一見、嬉しいことですが変動費以外のコストは売上（≒利益）を増加させるためにかけるものであるため、企業側からすると給料の増加に比例して利益を生み出してもらわなければ文字通り単なるコストです。給料に見合う価値（目に見える売上だけではありません）が属する企業に提供出来ているか状況を見ながら自身に求められる役割や会社が必要とする人物像について考え、単に属するだけでなく利益拡大に向けてコストである自覚を持ち行動していくことがる必要になってくると感じました。

「自分たちの仕事の重要性」 ビジネスアナリスト　椋本　啓嗣

昨年、事業計画書の作成に携わった事業者様の新事業が、今年８月に開始することとなりました。新たに店舗を建てサービス業を開始されますが、ターゲット顧客や地域の専門学生の働き口の提供など地域貢献にもつながるビジネスとなります。事業者様も新しい挑戦であったため、不安もあったと思いますが積極的に新事業の準備を進めておられました。店舗が建設され、新しい雇用が生まれたことで多くの従業員を抱えることになったと、社長様の口から聞いたことで、改めて自分が企業にとって需要で大きなプロジェクトに関わっているのだということを考えさせられる機会にとなりました。

裏面へ

「マイブーム到来！」　ビジネスアナリスト　秋定　皇輝

みなさん、最近マイブームはありますか？私はマイブームとしてカレーを食べに行くことにハマっています。昼夜カレーを２日連続など…ちょっと飽きそうなスパンで食べております。そのような中でも、最近沁みたカレーは大阪・日本橋にあるカレー屋さん「ノムソンカレー」です。ここは、全４種類のうち定番のチキンカリーに加え、日替わりのカレーが３種類あります。カレーを日替わりで３種類考えるのはすごい労力だろうな、と思いながら今回はあいがけで、炭火焼チキンカレーと海鮮カレーを注文し、食べることに必死になっていました。
暫くはカレーブームが続きそうなので、休日に遠方までカレーを食べに行こうかと思っています。おススメのカレー屋さんがあれば教えてください！

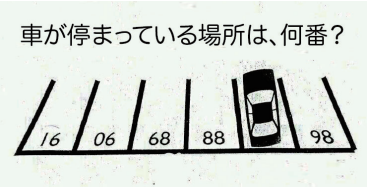
「″意識する″ことが上達の一歩」　ビジネスアナリスト　杉原　千尋

趣味で続けているフラメンコも、大学のサークル活動から通算して10年目に突入しました。まだまだ技術も知識も経験も少なく、学ぶことは尽きません。年数が長ければ、どんどん難しいパソ（ステップ）が振付に組み込まれますが、中々出来るようにならずへこむこともしばしば。できないことをできるようにしようと思うと、ひたすらできない部分を繰り返し重点的に練習することはもちろんですが、結局はどれだけ「意識できるか」にかかってくるのだと最近気づきました。自分が躓きやすいところを意識し、「絶対に成功させる」という強い気持ちを持って臨むと上手くいくことが多くあります。おそらく、積み重ねの練習をある程度行えば、最後の最後は意志によって左右されるということでしょう。できないな、と嘆いても前には進まないので、絶対に成し遂げるという気持ちを大切にしたいと思います。

「夏と言えば」　ビジネスアナリスト　江口　京

キャンプ、BBQ、花火、夏フェスなど、夏にはたくさんの楽しみがあります。夏と言えばイベント以外にも、カルピスがおいしい季節でもあります。食品メーカーや飲料メーカーのレシピサイトを見るのも私の趣味一つなのですが、カルピスのサイトにはドリンクとしてのアレンジだけでなく、お菓子や料理としてのアレンジレシピもたくさん掲載されています。パンやカレー、ディップソース以外にも、お寿司やサバの味噌煮（！）にも使えるようです。昔から見知った味にもまだ知らない楽しみ方があるので、積極的に楽しんで行きたいです。

「様々な角度で物事を見る」　ビジネスアナリスト　日野　慎太郎



先日、小学校２年生の娘から写真のクイズを出されました。10分ほど考えたのですが分からず、私は降参しました。皆さんは、わかりますでしょうか？ヒントはタイトルにもなっている「様々な角度で見る」です。仕事や日常生活においても、ある方向からしか見ていないと、理解できなかったり、間違って解釈してしまったりします。何事も見方を変えて多面的に考えるように心がけていきたいと思います。ちなみに、クイズの答えは「87」です。

「コロナ禍の２年半」ビジネスアナリスト　杉本　貴弘（中小企業診断士）

６月１日に和歌山支店がオープンし、私と林の２人が和歌山事務所勤務となり１か月が経ちました。和歌山には仕事での往訪や大型連休等には何度か足を運んでいたりもしましたが、２年半ぶりに和歌山に住むこととなり、買い物ついでに市内を回ってみました。たった２年半という期間ですが、コロナ禍ということもあり、所々でお店の入れ替わりが見られました。仕事上がりによく通っていたラーメン屋が閉店していたのがとてもショックです…。飲食店に限らず、ゼロゼロ融資の返済の始まりにより資金繰りが厳しいという企業が増えており、実際弊社にも相談が寄せられています。コロナ禍という大変な時期に地元を離れていた分、より地元の皆様のお役に立ちたいと思っております。

「眼鏡の購入でわかったこと」ビジネスアナリスト　林　友希

先日、眼鏡を買いに行きました。私はかなり視力が悪く、仕事がある日はコンタクトレンズで過ごしているのですが、弊社の仕事上、パソコンに向かう時間が多くなり、目に疲れを感じる事が多くなったためです。そのため帰宅後や休日は、なるべく目の負担になることを避け眼鏡で過ごそうと思い、購入を決めました。
眼鏡店に行き、フレームを決め、いざレンズの調整をしてみると、「老眼」が進行していると言われました。言われてみれば、近くの文字にピントが合わない感じが続いていたような気がします。ただ近頃はスマートフォンの普及でスマホの見過ぎによる「スマホ老眼」が多く、30代でも老眼が始まると教えて頂きました。
本格的な「老眼」も早まっている傾向であり、セルフケアが大事であると学び、遠くを眺める、目と目の周りを温める、目薬の使用などを実践しています。「目」だけでなく、これから暑さも本格的になりますが、日々の体調管理に気をつけて業務に励んでいきたいと思っています。

発行元：株式会社フラッグシップ経営　　経営革新等認定支援機関
大阪本社　：〒541-0043　大阪市中央区高麗橋３丁目 2-7　ORIX 高麗橋ビル５階
和歌山支店：〒640-8392　和歌山県和歌山市中之島１５１８　中之島８０１ビル　１２階
ＴＥＬ：0120-34-8776　　FAX：06-7635-8214
MAIL：info@flagship-keiei.co.jp　　URL：www.flagship-keiei.co.jp